

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立所沢北高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	「所北を考える会（学校評価懇話会）」などを通じて生徒の実態や学校の現状を把握し、生徒・保護者・地域などの期待に応えるものとなっている。全教職員が共通理解を持って進めている学力向上や進路実現のための取組、理数科の設置など、学校の特色や良さを生かした魅力あるものとなるように更に工夫していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	授業改善を始めとする学力向上に関する取組や開かれた学校づくりの取組を視点とした重点目標が設定されている。中期的な視点に立ち、課題の解決に向けて日々の教育活動の指針となるような、具体化した内容にすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校評価運営委員会により、学校全体のシートと分掌等のシートの調整が図られており、学校関係者の意見などが分掌・学年等の取組にうまく活用されている。中間評価のための仕組みづくりを検討するなど、学校自己評価システムの適切な運営に向けて更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体のシートに基づいた方策が分掌・学年等で策定され、実施されている。方策及び評価指標については、何を、いつまでに、どの程度行うのかといった視点を加え、進捗管理を意識して具体的なものになるように更に工夫していただきたい。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が状況に即して的確にリーダーシップを発揮し、課題の解決の方向を示すとともに、率先垂範して学校全体の取組の推進を行っている。目標の達成に向けて更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	「所北を考える会」ではグループ協議など運営の工夫をし、生徒を始めとする学校関係者の参画意識を促して実質的な討議に基づく現実的な提案が行われ、学校自己評価のための情報が豊富に収集されている。学校関係者の意見やアンケート結果等を更に詳細に分析し、次年度の具体的な取組につなげてスパイラルアップを図るようにしていただきたい。	
特記事項			